

コロナ禍の下、「命」を最大の価値基軸に 安全第一の夏季輸送をつくり出そう！

私たちは、赤字・コロナ禍においても公共交通機関の使命を全うし、日々緊張感を持って業務にあたっている。そのような中、7月3日に集中豪雨によって熱海で土石流による甚大な被害が発生した。夏季輸送を目前に、自然災害の猛威に恐怖を覚えた。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りすると共に、被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

激甚化する自然災害の対応、繰り返し発生する注意を要する事象、グループ会社を含めた労働災害は未だ増え続けている。そのような中、例年とは異なる夏季輸送が控えている今、私たちが心しなければならないことは、社会的な安全、お客さまの安全、組合員の安全を守ることであり、「命」を最大の価値基軸に、JR東日本グループで働く全ての仲間と安全・安定輸送を担うことに集中していかなければならない。

新型コロナワクチンの職域接種も始まってはいるが、首都圏において感染者数は減少せず、予断を許さない状況は続いている。そのような中、6月30日、JR東日本は「東京2020オリンピック期間中において、日中帯や終電以降の深夜帯に臨時列車を運転します。」とプレス発表を行った。私たちは、感染拡大防止の観点でこの間、職場で苦労しながら日々取り組んできている。しかし、オリンピック組織委員会からの要請を受けたとはいえ、臨時列車を運転することに対し、組合員からは疑問の声があがっている。職場では、オリンピックに向けての動画を社員に視聴させているが、「通常の終電よりも遅い時間帯に臨時列車を運転」と発表しているのだから、一方的な動画配信で済ませてはならない。会社は、職場で苦労している社員の声に向き合い、会社が行おうとしていることについて説明し、協力を求めるべきである。さらに、安定輸送を前提としたオリンピック輸送が示されているが、現場で働く組合員の労働環境の整備は後手を踏んでいる現実がある。

中央本部は、このような経営姿勢に対し、是々非々の姿勢で対峙していくものである。

全組合員のみなさん！

- 「命」を最大の価値基軸に、安全・安定輸送を確保していこう！
- 小さなことも見逃さず、何かあったら、本部・地本・支部・分会・近くの役員へ「報告・連絡・相談」をしよう！
- 中央本部は地方本部と連携し、必要があれば、問題の解決を求め団体交渉を行っていきます！

2021年 7月 7日
東日本旅客鉄道労働組合